



田井 真一 議員
(改革未来・自民の風)



教員の働き方改革 ～働きがい～

教員の長時間残業の現状

問 令和5年度の、教員の長時間残業の状況は。

答 小中学校教員255人のうち、残業時間が国のガイドラインの1か月45時間を超えている者は86人(34%)、年間360時間を超えている者は約120人(47%)でした。

教員採用試験倍率の低迷

問 近年、教員採用試験の倍率が低迷しているが、市教委としての認識は。

答 教員の負担が大きいこと、教員という職業の魅力が伝

わらないことが要因と考えます。

国の方策の効果

問 文科省、財務省が掲げる改革案では、学校現場が抱える問題を根本的には解決できないと考えるが、教育長の見解は。

答 (教育長) 両案とも、少しは効果があるかもしれませんが、教員増の効果は難しいと思います。業務の縮減や見直しを、国全体で進める必要があると考えます。

「やめる」の実践を

問 学校業務は、「スクラップ&ビルド」ではなく、「ビルド&ビルド」である。負担軽減のためには、「スクラップ」「やめる」を実践するべきでは。

答 「やめる」の実践として、多忙期の6時間目授業のカットや、研究発表会の休止などの事例はありますが、学校への要望な

どが増加するなか、「ビルド」ばかりが増えているのが実状です。

プールの民間委託を

問 教員にとってプールの負担は大きく、また、年間20日程度しか使用しないプールに膨大な維持管理費は非効率である。既設校のプールの民間委託を検討しては。新統合中学校にはプールを設置せず、民間委託をしては。

答 特に小学校教員にとっては負担が大きいので、民間委託のメリット、デメリットの検討は必要と考えます。新統合中学校については、中学校長会や教員から自前プールの強い要望があり、設置する計画で進めています。

■その他の質問項目

- ・スクールバス調査委託の状況は
- ・高齢者世帯の粗大ごみ戸別収集の状況は



高橋 佐代子 議員
(改革未来・自民の風)



市長の政治姿勢について

摘されていた道の駅や未来型児童館の建設を再考し、病院についても建設時の経営や診察に対する影響、病院が持つ周辺への波及効果などを考慮して計画の再考を行いました。そのほか、都市計画税の廃止、道路修繕の推進、市単独の物価高騰対策として水道基本料金の免除、事業者への原油価格高騰支援金、市民養老金の拡充などを実施してきました。また、市民の声を踏まえて再検討し、方向性が定まった小学校の統合などに取り組んでいます。

今後はしっかり市民ニーズを捉えながら、加西市発展のため事業に取り組んでいきたいと思っています。

問 令和6年10月末に提出された「庁舎増築計画の中止を求める会」の署名について、どう受け止められたのか。

答 (市長) 署名については、議会審議を経て設計予算も可決いただいた中、なぜ今頃、提出されたのか、また、本当に純粋に署名をされたのかと疑問に思うものもありましたが、2,200余りの署名があったことは、重く受け止めたいと考えています。

しかしながら、議決に関わったベテラン議員がこの署名集めに回られ、「お願いされたからやむを得ず署名した」といった苦情も寄せられており、議員の資質を疑うところです。また、庁舎の増築を職員のためと勘違いされているような意見も多く、正しい理解の下で署名されたのか疑問です。庁舎は市民のものであり、市民サービス向上のため、また、防災対策のための施設です。厳しい財政状況が続く中、適期を見極めて対応することが本来の市民目線に立った行政運営と考えます。